



会津建設 株式会社

注文住宅の設計・施工・監理、建築物や構造物の設計・施工・請負・監理、リフォームの設計・施工・監理



1 磨きぬいた職人の「木づかい」と「こだわり」が息づく現場。大先輩が若手を育てる匠の舞台でもある。2 営業・設計・現場監督・大工が集う打合せ風景。お客様の理想を実現する「自由設計」で、ものづくりを愛する仲間と技術を高め合い、よりよい木の家を目指す。3 大幅な省エネと再生可能エネルギーの導入で、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の家を実現。快適でエコな住まいが、職人の工夫で形に。4 毎年夏休みに開催する「プロの大工が教える親子木工教室」。木のぬくもりに触れて作品を完成させることで、小学生の頃から「ものづくり」に関心をもってもらう。5 熱と高周波にかけて水分量を限界まで減らした木材は、反りや「くる」のない強靭な材料に。レジンを組み合わせたテーブルやボールペンの素材としても活用

TOP MESSAGE

会社の魅力や求める人材など
皆さんへのメッセージ

高い技術と良質な素材が 私たち「会津建設」の強み

弊社は木材を丸太で仕入れ、製材・製品加工を社内で行うことで、良質な素材の注文住宅を廉価で提供し続けてきました。また住宅メーカー等では、下請大工に外注するのが一般的ですが、弊社は正社員大工を育てて高い技術力を維持し、高品質の木造建築を実現しています。

全国の大工の数は1980年の約94万人から2020年には約30万人に減少し、さらに高齢化が進み10年後には半減するといわれています。この危機を乗り越えるため「親子木工教室」や「職場体験」など、子どもたちが建築に関心を持つ機会をつくり、大工をはじめ技術者たちが社会で輝けるよう、地位向上にも力を尽くしてまいります。



代表取締役社長 芳賀一夫



若手社員が集合！「建築の現場や技術に興味がある」「木造住宅の設計に携わりたい」という人にはぴったりの会社

熟練大工が建てた木の家は、百年以上にわたって住み続けることができる。「会津建設」は、創業以来「木の住まいが日本の風土・環境に最適である」という信念で家づくりをしてきた。伝統的な在来工法を基本に、現建築基準法の最低水準である「耐震等級1」を大きく上回る、「耐震等級3」を標準設定。福島の気候を知り抜いた高断熱・高機密性能にも注力している。始まりは南会津郡伊南村(現・南会津町)で、1953年に創業した木材会社。福島市への本社移転を経て、72年にわたり木の専門家としての実績を積み重ねてきた。現在も職人が吟味した丸太を国内外から販賣し、自社の一貫生産ラインで製材と加工を行い、品質の高さと適正価格を実現している。

自由設計が会津建設の特徴のひとつ。「良い木」を使い「確かに腕」で丹精込めてつくることができる。「会津建設」は、創業以来「木の住まいが日本の風土・環境に最適である」という信念で家づくりをしてきた。伝統的な在来工法を基本に、現建築基準法の最低水準である「耐震等級1」を大きく上回る、「耐震等級3」を標準設定。福島の気候を知り抜いた高断熱・高機密性能にも注力している。始まりは南会津郡伊南村(現・南会津町)で、1953年に創業した木材会社。福島市への本社移転を経て、72年にわたり木の専門家としての実績を積み重ねてきた。現在も職人が吟味した丸太を国内外から販賣し、自社の一貫生産ラインで製材と加工を行い、品質の高さと適正価格を実現している。

木材を扱い続けて72年
地域に密着した家づくり

一つひとつ確実に成長し
みんなが未来の主人公

「一生モノの家」を一緒につくるう
木造の建築技術は日本の誇り、

自社の一貫生産ラインで製材と加工を行い、品質の高さと適正価格を実現している。

技術や素材の勉強も欠かさない。環境が存在する。さらに新たな技術や素材を自分の中にできる会津建設で、「一生モノの家」とキャリアをつくろう。

会社情報

■設立 1953年
■代表取締役社長 芳賀 一夫
■資本金 4,980万円
■従業員数 68名(2025年11月現在)

■求人対象
高卒 専門卒 短大卒
大卒 大学院卒 中途

■業務内容
●営業職
お客様の声やニーズに誠実に向き合い、提案し実現する仕事
●設計職
お客様の要望とともに安全や法律に配慮し、設計図を描く仕事
●施工管理職
設計図をもとに納期、安全、品質、予算を管理し、工事をまとめていく仕事

〒960-8073
福島県福島市南中央三丁目2番地
TEL／024-535-4440
FAX／024-535-5955

■インターンシップ
可能 [体験期間] 1日
[申込方法] 電話またはメール
■採用担当者連絡先
TEL／024-535-4440
E-mail／info@aizukensei.co.jp